

2018年度 第3回 常務委員会議事録

日 時:2018年11月13日(火)18:00~20:15

場 所:順天堂大学第2教育棟6階

出席者:久田健一郎, 高橋 修, 青木秀則, 伊藤 孝, 小森次郎, 小関純一, 清水政義, 中林俊明, 宮下 治, 吉本直弘(スカイプ出席), 米澤正弘, 渡来めぐみ(計12名)

議 題

1. 論文の転載について

日本地学教育学会兵庫大会講演予稿集の当該論文の電子版を, 著者の所属先ホームページに掲載することの是非について問い合わせがあった. 検討の結果, 認めることとした.

2. 2018年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第72回全国大会茨城大会の開催報告・収支決算について

茨城大会実行委員長の青木副会長より, 同大会の開催報告(案), 収支決算(案)について提案があった. 開催報告は実行委員会で再度検討ののち, 『地学教育』第71巻第3号の学会記事に掲載することとした. 収支決算は一部体裁を修正の上, 認めることとした.

3. 役員選挙の電子投票について

近い将来に予定している役員選挙の電子投票について, 継続審議を行った. 結果, 採用可能性の高い業者の投票システムを精査した上で, 会員への協力依頼文書を再検討することとした.

4. 全国大会支援委員会について

2018年度第3回常務委員会にて設置することとした全国大会支援委員会の性格について議論した. 結果, 業務範囲には上限を定め, 毎回の大会実行委員会と相談の上, 弾力的に支援することとした.

5. 『地学教育』有料購読会員の会費の消費税について

議論の結果, これまで通り, 有料購読会員の会費については, 消費税も併せて徴収することと, また増税後も変わらず適用することとした.

6. 学会の財政健全化について

1) 地学教育学会の会則第6条に定められた会員の権利, 2) 冊子態『地学教育』の発行頻度, 3) 新雑誌の発行, について議論した. 結果, 1)については, 当面, 非会員と比較して, 大会参加費の点で優遇措置を進めていくこととした. 2)については, 受理論文をJ-Stageで広く公開していくことに加え, 冊子態『地学教育』の刊行頻度をどのようにすべきか, という点を業者見積を踏まえて議論した. これについては, 3)の小学校教員~高等学校教員を主な読者と想定した新雑誌の発行の是非・性格とも併せ, 継続審議とすることとした. なお, 新雑誌のパイロット版を早々に準備することとした.

7. 会勢について

会勢を確認した。前回の常務委員会以降の入退会ともなかった。

8. その他

NPO 法人地学オリンピックより依頼のあった地球科学普及講演会「地球をぶらり」の後援の是非について検討した。結果、後援を妥当とした。

報告・話題提供

1. 各種常置委員会から

常務委員会伊藤委員長より、学会ウェブサイトにおいて、過去に『地学教育』上で掲載された全論文の書誌情報が公開された旨、報告があった。

編集委員会吉本委員長より、『地学教育』第 71 巻第2号の配布予定、第3号の準備状況、現在の投稿状況等について報告があった。

2. その他

久田会長より、日本理科教育協会会誌『理科』が復刊された旨、情報提供があった。

久田会長より、2018 年度の本学会海外巡検(台湾)について、現時点で参加予定者 13 名であること、巡検案内をすでに準備済であること等、紹介があった。

次回、2018 年度第3回常務委員会は、2019 年 1 月 23 日(水)、帝京平成大学中野キャンパスにて開催予定。